

第1期東海村スポーツ推進計画の評価及び総括(案)

第1期計画では、本村のスポーツを取り巻く現状と課題を踏まえ、基本理念、数値目標、達成指標そして3つの基本目標に基づき、様々な取組みを進めてきました。

第1期計画は、数値目標・達成指標の進捗度(令和5年度東海村スポーツ推進計画策定に係るアンケート調査ほか)及び、施策毎の取組状況により評価し、総括します。

なお、施策毎の取組状況は令和4年度末時点に取りまとめます。

《総括》

計画の基本的な方針

数値目標		目標値	策定時	総括時
村内成人の週1回以上のスポーツ実施率		60.0%	36.5%	
算出方法	平成29年度の東海村スポーツ推進計画策定時に実施したアンケート調査結果			

※アンケート調査後に記載

第1期東海村スポーツ推進計画において、基本的な方針として設定した数値目標を達成することはできませんでした(できませんでした)。

〈理由考察〉

〈第2期計画への展望〉

基本目標1 子どもがスポーツを楽しむことができる

達成指標		策定時	総括時
放課後や休日に、運動部やスポーツクラブ以外で、運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをする児童・生徒の増加	小5男子	81.1%	75.0%
	小5女子	76.5%	81.5%
	中2男子	69.4%	65.9%
	中2女子	48.4%	53.4%
算出方法	スポーツ庁が毎年実施する「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果		

施策1－① 遊びを通した運動習慣づくり

施策目標	子どもたちに運動することの楽しさや喜びを伝える機会を提供し、運動習慣づくりを推進します。また、幼稚園教諭や保育士、スポーツ指導者などに運動遊びに関するプログラムを提供するとともに、保護者に対しても、幼児期から積極的に体を動かすことの重要性を周知し、意識啓発を行います。
取組状況	誰でも、いつでも楽しめるニュースポーツ体験を実施したり、本村オリジナルニュースポーツ「イモゾーリレー」の開発・普及など、村民がスポーツに親しむ「きっかけ・習慣づくり」を推進してきました。また、運動遊び教室やスポーツ少年団指導者講習会などでアクティブ・チャイルド・プログラムを取り入れるなど、子どもはもちろん保育士や指導者、保護者などに対しても、「スポーツを楽しむ」ためのプログラムを提供しました。
今後の方針	今後も、子どもたちがそれぞれのペースで「スポーツを楽しむ」「スポーツに親しむ」を継続していきけるような機会を提供していきます。

施策1－② 親子でのスポーツ機会の充実

施策目標	親子でスポーツ教室に参加できる機会を設けるなど、子どものスポーツとの関わりを支援します。また、スポーツは運動者が一緒に体を動かすことで、コミュニケーションツールとしても機能するため、親子の絆を深める機会の提供を行います。
取組状況	「スポーツフェスタTOKAI」や「ニュースポーツだヨ！全員集合！！」において、「子どもから大人まで3世代がスポーツに親しむきっかけ・習慣づくり」の場を提供し、スポーツを通した体力・健康・親子の絆づくりを行いました。また、チャレンジスクールや東海村スマイルマラソンにおいても家族参加できる機会を提供し、親子でのスポーツ機会の充実を図りました。
今後の方針	今後も、「子育て世代」や「親子」をメインターゲットの一角として設定し、スポーツのコミュニケーションツールとしての機能を活用した事業を展開していきます。

施策1－③ 学校におけるスポーツ活動への支援

施策目標	学校体育でスポーツの楽しさを実感し、継続できる子どもが多くなるよう支援します。また、参加したい種目の運動部活動がない生徒を支援する取り組みや、トップアスリートと交流する機会の創出により、多くの子どもがスポーツに魅力を感じるような事業を実施します。
取組状況	村内中学校からの要望により、村スポーツ協会から中学校部活動へ指導者を派遣し、生徒の競技力向上及び中学校教員の部活動指導の支援を図りました。
今後の方針	今後は、運動部活動の地域移行化に合わせ、地域のスポーツ団体等と連携しながら子どもたちのニーズに応じたスポーツ活動の機会を提供していきます。

基本目標2 多くの人がスポーツに親しむことができる

達成指標		策定時	総括時
余暇時間におけるスポーツ実施率の増加		13.8%	
きっかけがないためにスポーツを行っていない人の減少		29.7%	
スポーツボランティア経験者・希望者の増加		17.7%	
算出方法	平成29年度の東海村スポーツ推進計画策定時に実施したアンケート調査結果		

施策2-① 誰でもスポーツを楽しめるきっかけづくり

施策目標	スポーツフェスタの開催や身近な地域でのスポーツ機会の提供などにより、スポーツを「する人」が増加し、また、継続できるよう、誰もが参加しやすい事業を実施します。 また、元来スポーツに興味がない人でも、スポーツの楽しさを実感できるイベントやスポーツ観戦の機会を設けることにより、スポーツを「見る人」の増加に努めます。
取組状況	「スポーツフェスタTOKAI」では、約50種類のスポーツ体験ブースや健康セミナーが出展し、子育て世代や高齢者、障がい者など、誰でも気軽にスポーツを楽しめる機会を提供しました。 また、水戸ホーリーホックと連携して開催した「東海村の日（優待チケットでの観戦）」や、「いばらき県央地域スポーツフェスティバル」において、プロスポーツチームやプロスポーツ選手と交流できる機会を創出するなど、スポーツを通じた地域活性化に取り組みました。
今後の方針	今後は、公園や学校、地域活動の拠点などでスポーツに関わる機会を増やしていくなど、住民がスポーツをより身近に感じ、「する」「見る」「支える」活動を継続できる環境を整備していきます。

施策2-② 多様なスポーツ人材の育成・確保

施策目標	競技者の支援に加え、様々な講習会などを通して指導者の指導力向上を図ることで、競技スポーツ及び地域スポーツの活性化に取り組みます。また、競技会やスポーツイベントなどの開催・運営に欠かせないスポーツを「支える」ボランティアを確保し、活躍の場を提供します。
取組状況	村の「スポーツ大会出場奨励金」や村スポーツ協会の「関東・全国大会出場に伴う選手派遣費」の交付などにより競技者を支援してきました。 また、村スポーツ少年団本部で指導者向け講習会を開催するほか、「スポーツ講演会」で指導者として活躍している方や専門的知見を有する企業を講師に迎えることで、指導者の育成を図りました。
今後の方針	今後は、スポーツを「支える」人を応援する仕組みとして、イベント等村のスポーツ推進事業に携わるスポーツボランティアを確保し、活躍の場を提供します。

施策2-③ スポーツ活動団体への支援

施策目標	スポーツに関わる人を増加させるため、また、充実したスポーツ活動を継続的に行うため、受け皿となるスポーツ活動団体の支援を通してより多くの村民がスポーツに親しめる環境を整備します。
取組状況	村スポーツ協会、村スポーツ少年団本部に対して補助金を交付し、その活動を支援してきました。 また、村内のスポーツ人口拡大に向けて、「スポーツフェスタTOKAI」でスポーツ少年団体験・PRブースを設置し、多くの来場者に活動をPRすることができました。 スポーツ活動の「場」の確保という点では、令和4年度から茨城県立東海高校の体育館・卓球場を学校開放施設として開放し、スポーツ活動団体の活動場所の確保を図ってきました。
今後の方針	今後は、運動部活動の地域移行化に伴い、各スポーツ活動団体に所属する指導者の活動の場も確保しながら、各団体の運営体制（クラブ化等）の支援も検討していきます。

基本目標3 まちづくりにつながるスポーツ環境の基盤をつくる

達成指標		策定時	総括時
スポーツに関心がある人の増加		75.7%	
算出方法	平成29年度の東海村スポーツ推進計画策定時に実施したアンケート調査結果		

施策3-① いつでもスポーツができる施設環境の整備

施策目標	既存のスポーツ施設の充実化や民間施設等の活用などを進めることで、より多くの村民がいつでも気軽にスポーツ活動が行えるよう、施設・設備の整備充実を図ります。
取組状況	スポーツ施設の維持修繕・設備更新を計画的に実施することで、利用者の安全性確保や利便性向上を図ってきました。 ニュースポーツやグラウンドゴルフなど多目的なスポーツ活動を想定し、令和4年度から久慈川河川敷ニュースポーツ広場を整備・供用開始しました。また、令和4年度から茨城県立東海高校の体育館・卓球場を学校開放施設として開放を開始しました。
今後の方針	今後は、阿漕ヶ浦公園や神楽沢近隣公園、各コミセン多目的ホールなども活用しながらスポーツ推進事業を展開するほか、より多くの村民がいつでも気軽にスポーツ活動が行えるよう、スポーツ施設の充実化に取り組めます。

施策3-② スポーツ関連情報の収集・発信

施策目標	スポーツ関連情報を収集・一元管理し、スポーツに関わりたい人がいつでも情報を得ることができる仕組みを構築します。
取組状況	東海村公式ホームページにおいて、「東海村運動・スポーツ総合情報ページ」を開設するほか、広報とうかいでスポーツ特集記事を掲載し、スポーツの魅力PRと併せて村内スポーツ団体や年間イベント・教室、スポーツ施設などを紹介することで、スポーツを「する」「見る」「支える」を全村的に応援する機運の醸成を図りました。
今後の方針	今後は、“スポーツのまち 東海村”のPRと併せて競技者やスポーツ団体の奮闘を広くPRするなど、スポーツ情報を積極的に発信することで競技者・スポーツ団体のモチベーション向上を図ります。

施策3-③ スポーツを通した多様な連携によるまちづくりの展開

施策目標	レクリエーションの要素を持つスポーツや健康増進に効果的なスポーツを、健康づくりやコミュニケーションのツールとして活用するなど、スポーツと福祉・観光を始めとするあらゆる分野の連携を図り、“スポーツのまち 東海村”を目指す機運を醸成します。
取組状況	「スポーツフェスタTOKAI」は、「スポーツ・健康づくり」をテーマに庁内関係課・関係団体がそれぞれの視点からアプローチすることで、子育て世代や高齢者、障がい者を含む全ての人が「つながる」機会を創出し、多くの方がそれぞれに合った関わり方で参加できるイベントとして実施しております。 また、健康増進部門においては、「スポーツフェスタTOKAI」に限らず、SCスマイルTOKAIとの連携（業務委託）などにより、スポーツと健康づくりを一体的に推進してきました。
今後の方針	今後は、「スポーツフェスタTOKAI」を核として、様々なスポーツ推進・健康づくり事業が住民同士の交流や人と人とのつながりを生み、まちの元気の源とになっていけるよう、あらゆる分野・組織と連携を図ってまいります。